

社団法人 日本病院会 平成22年度 第3回 定期常任理事会 議事抄録

日 時 平成22年6月26日(土) 13:00～17:00

会 場 社団法人 日本病院会 5階 会議室

出席者 後掲参照

出席者 堺 常雄 会長

今泉暢登志、高橋 正彦、末永 裕之、相澤 孝夫、梶原 優、大道 道大 各副会長
藤原 秀臣、宮崎 瑞穂、木村 壯介、万代 恭嗣、中井 修、渡邊 史朗、
山田 實紘、武田 隆久、生野 弘道、小川 嘉誉、中島 豊爾、塩谷 泰一、
岡留健一郎、安藤 文英 各常任理事

宮川 信 監事

野口 正人 代議員会議長

奈良 昌治、山本 修三、池澤 康郎、佐藤 眞杉、大井 利夫、宮崎 忠昭 各顧問

高久 史磨、松田 朗、堀内 龍也、権丈 善一、

菊池 令子(久常 節子会長の代理出席) 各参与

前原 和平、福永 秀俊、有賀 徹、原 義人、大道 久、崎原 宏 各委員長

中村 博彦、三浦 将司、福田 浩三、細木 秀美 各支部長

堺 会長から、開会挨拶を述べたのち、このたび就任いただいた顧問、参与の各先生を紹介し、自己紹介が実施された。会議定足数として、定数26名中、出席者18名、委任状4通、計22名(過半数14名)で会議が成立している旨報告後、議事録署名人に宮崎 瑞穂、小川 嘉誉両常任理事を選任し議案審議に入った。議事進行は、末永 裕之副会長が担当した。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

前回の役員会後の会員異動の紹介があり、協議の結果、届出を承認した。

(正会員の入会1件)

北海道・都道府県・北海道公立大学札幌医科大学附属病院(会員名：塚本 泰司 院長)

(正会員の退会5件)

滋賀県・医療法人・中山病院(会員名：中山 厚彦 理事長)

石川県・会社・NTT西日本金沢病院(会員名：佐賀 務 院長)

北海道・独立行政法人・国立病院機構札幌南病院(会員名：飛世 克之 院長)

神奈川県・会社・三菱重工大倉山病院(会員名：引間 則夫 院長)

奈良県・個人・錦織病院(会員名：錦織 方人 院長)

(特別会員の退会1件)

宮城県・海の見える丘クリニック

(賛助会員の入会2件)

B会員・茨城県・水戸経理専門学校(代表者：八文字 典昭 学校長)

C会員・石川県・佐賀 務(NTT西日本金沢病院 院長)

(賛助会員の退会2件)

A会員・東京都・星医療機器

A 会員・東京都・フランスベッド株式会社

平成 22 年 6 月 26 日現在

正 会 員 2,506

特別会員 238

賛助会員 236 (A 会員 94、B 会員 109、C 会員 1、D 会員 32)

2. 関係省庁および各団体からの依頼等について

下記依頼について検討した結果、依頼を承認した。

(継続：後援、協賛 6 件)

第 18 回日本慢性期医療学会・大阪大会(日本慢性期医療協会)の後援

HOSPEX Japan(第 39 回日本医療福祉学会併設展示会)の協賛

医療ガス保安管理技術者講習会(医療機器センター)の協賛

第 21 回全国介護老人保健施設大会 岡山(全国老人保健施設協会)の後援

救急の日 2010(日本救急医療財団)の後援並びに協賛金協力

(継続：会員登録・委員委嘱)

医療経済フォーラム・ジャパンの会員登録

山本 修三 名誉会長 堺 常雄 会長 に交代。

医事法関係検討委員会(日本医師会)委員の推薦

大井 利夫 顧問を選任。

(新規：協賛)

「外国人看護師、今後の展望」のシンポジウムの協賛

(多文化医療コミュニケーションプロジェクト)

3. I H F 理事について

山本 修三名誉会長から堺 常雄 会長の交代を承認。

4. 支部長の交代について

山口県支部支部長の交代届出(4 月 1 日付) の交代を承認。

(現)水田 英司 支部長(小野田赤十字病院 院長)

(新)三浦 修 支部長(防府消化器病センター 防府胃腸病院 院長)

5. 人間ドック健診施設機能評価認定施設の指定について

下記施設の指定を承認した。

(新規 1 件)

埼玉県・恩賜財団 埼玉県済生会川口健診センター

(更新 3 件)

愛知県・医療法人愛生会 小林記念病院 健康管理センター

愛媛県・医療法人 蔡愛会 石川病院

長野県・医療法人 仁雄会 穂高病院

6. 診療情報管理士認定試験受験校の指定について

下記施設を認定試験受験校として承認。

福岡県・保健医療経営大学 保健医療経営学科(施設経営コース)

7. 代議員の所属変更について

大分県の代議員の所属変更を承認した。

あかし みつのぶ
明石 光伸 (厚生連鶴見病院 大分市医師会アルメイダ病院)

8. 日本病院会の参与委嘱について

齊藤壽一前常任理事の参与委嘱を承認し、7 月期理事会に議案を上程し、承認後、代議員会への書面審理(定款第 26 条)を行うこととした。

[報告事項]

1. 各委員会等の開催報告について

下記諸会議の開催報告が実施された。

(1)第 71 回診療情報管理士認定証授与式(5 月 29 日・東京都・グランドプリンスホテル新高輪・出席者 360 名)

(2)診療情報管理士教育委員会・分類小委員会(第 1 回・6 月 14 日)

(3)診療情報管理士教育委員会・基礎課程小委員会(第 1 回・6 月 14 日)

(4)診療情報管理士通信教育コーディング勉強会(5 月 23 日～6 月 13 日 426 名受講)

(5)診療情報管理士通信教育後期スクーリング(2 月 16 日～5 月 26 日 27,330 名受講)

(6)医業経営・税制委員会(第 1 回・6 月 10 日)

平成 23 年度税制改正に関する要望について：四病協と日病の要望(案)を検討。医療機器関連の特別償却制度に関する実態調査について：日病、全日病、医法協の会員 1,000 会員の調査依頼を実施。病院経営分析調査について。紹介派遣会社の手数料について：四病協として実態調査を行う対応とした。

(7)感染制御講習会(第 1 クール：5 月 29 日(土)～30 日(日))368 名の受講。

(8)臨床研修指導医養成講習会(第 1 回・6 月 11 日～13 日)

(9)病院診療の質向上検討委員会(第 1 回・6 月 22 日)

(10)診療報酬改定影響度調査：会員各位に診療報酬改定影響度(6 月分)調査を 7 月に実施し、8～9 月に集計、分析、10 月に報告書取りまとめるスケジュール(案)が紹介。

(11)日本診療情報管理学会・倫理委員会診療情報学検討WG(6 月 1 日)：「診療情報学」の掲載項目を検討。

(12)日本診療情報管理学会・診療情報管理士業務指針WG(6 月 4 日)：業務指針(案)の検討等。

(13)日本診療情報管理学会・編集委員会(第 1 回・6 月 7 日)：診療情報管理の発刊について検討。

(14)日本診療情報管理学会・理事会(第 1 回・6 月 9 日)：平成 21 年度収支決算報告 評議員の退任として 3 名の退任を承認。名誉会員の推挙について：3 名(山本 修三、星 和夫、鳥羽 克子 各氏)を選任 等。

(15)日本診療情報管理学会・診療情報管理士生涯教育研修会(第 46 回・6 月 12 日 83 名の受講)

- (16)日本診療情報管理学会・生涯教育委員会(第2回・6月20日)：「診療情報管理士指導者」認定について。平成22年度冬の生涯教育研修会の企画について。
- (17)広報委員会(第1回・6月18日)：広報委員会のあり方 広報委員会の課題等。

2. 日病協について

下記諸会議の開催報告があり、概要報告を了承した。

- (1)6月16日(水) 実務者会議：病院のコスト分析と入院基本料のあり方について：「根拠に基づく診療報酬の算定方式の創設」に向けての調査、検証の取り組みを求める要望書を検討。医療保険と介護保険の給付対象の整理について：あるべき姿を継続検討。
- (2)医療安全全国共同行動(日本版100Kキャンペーン)に係る検討委員会(6月21日)：医療安全全国共同行動の第二期における対応を検討。
- (3)5月28日(金)、6月24日(木)代表者会議：中医協等の報告 実務者会議の報告 医療安全全国共同行動について 「専門医制度の現状と将来展望」について(社)日本専門医制評価・認定機構からの説明。

3. 中医協について

報告者不在のため、資料一読で了承。

- ・総会(第172回・5/26)、(第173回・6/2)、(第174回・6/23)、薬価専門部会(第64回6/23)。

4. 四病協について

下記諸会議の開催報告があり、了承された。

- (1)厚労省・福祉医療機構・四病協合同勉強会(第15・16回・5/26、6/23)：行政刷新会議を踏まえた機構の対応。長期融資の比較。病院の施設整備動向アンケート調査について等。
- (2)医療保険・診療報酬委員会(第3回・6月4日)：中医協の開催報告 看護職員の配置・夜勤時間に関する要件の在り方について：日看協を交えての意見交換会を実施することとした。
- (3)日本看護協会・四病協(医療保険・診療報酬委員会)合同会議(第1回・6月25日)：今後の看護業務の在り方についての意見交換を実施。
- (4)医業経営・税制委員会(第3回・6月22日)：平成23年度税制改正要望について：素案を作成し、総合部会への提出、了承後、厚労省への要望実施とした。「医療法人の現状と課題に関するアンケート」の実施後の回収(督促)対応を行うこととした。
- (5)メディカルスクール委員会(第9回・6月10日)：文部科学副大臣(池坊保子 衆議院議員)に対し、四病協メディカルスクール検討会報告書の概要説明を実施。
- (6)総合部会(第2回5月26日(水)、第3回6月23日(水))：5/26：外部説明として厚労省からの必要医師数実態調査。医療制度委員会は廃止とし、医療制度に係わる諸問題対応は、必要に応じ対応する。8人委員会・2次救急病院の問題に関する検討委員会(仮称)の設置を了承。厚労省より依頼のあった医療法人の現状と課題に関するアンケート調査の実施状況報告。民主党あてメディカルスクールを検討願う要望を行うことを了承。6/23：地域医療対策委員会(日医)の委員として、神野全日病副会

長を継続就任とした。 8 人委員会の事務担当は日病となった。 日医・四病協懇談会のあり方について検討。 福祉医療機構の融資拡大に関する要望書を四病協として提出することとした。

- (7)日本医師会・四病院団体協議会懇談会(5月26日、6月23日)：5/26：病院連絡協議会及び医療法上の医師配置標準問題について意見交換を実施。6/23：マスコミ対応及び特定看護師(仮称)問題、医療ツーリズムと混合診療等について意見交換を実施。

5. 関係団体の各種検討会の開催報告について

下記会議の報告が実施された。

6月18日(金)(財)日本医療機能評価機構 理事会・評議員会：平成22年度受審病院の確保状況、理事の選任、評議員の選出(理事・評議員任期：22年7月1日～23年3月31日)報告を了承。

6. IHF 理事会の開催報告について

6月1日～6月3日アメリカ・シカゴで開催された運営評議会報告として、IHF 本部の移転(フランス ジュネーブ)、2011年世界大会の準備及び2013年の見通し状況、IHFの意義、役割等についての明確化、各国共通の問題、課題の優先順位等を図ることとした。

7. その他

- (1)厚労省の平成22年度医療の質の評価・公表等推進事業について

本会の事業として協力することとなった旨の報告。

- (2)経済産業省の医療産業研究会報告書について

経済産業省が雇用創出、技術革新、地域振興の観点から「医療産業研究会」を発足させ、医療サービスのイノベーション促進を検討している。このたび医療機関側から委員参画している山本顧問から報告書の概要説明が実施。

- (3)国際モダンホスピタルショウ2010(7月14日～16日)時のシンポジウムについて

7月15日(木)に開催されるシンポジウム「チーム医療の実践と質向上～推進に向けた課題～」の概要報告が実施。

- (4)第60回日本病院学会(山田 實紘 学会長)の進捗状況について

7月22日(木)～23日(金)に岐阜市で開催される学会(テーマ：医療人の協働と明日を拓く力～人間50年から100年～)の各種講演、一般演題等の現状について報告があった。

- (5)病院診療の質向上を考えるセミナーの開催について

7月2日(金)に大阪市(後援：大阪府病院協会、大阪府私立病院協会)で開催される第1回セミナーの概要説明と参加呼びかけが行われた。

- (6)平成22年度病院長・幹部職員セミナーの開催について

8月5日(木)～6日(金)にアルカディア市ヶ谷(東京都・千代田区)で開催されるセミナー骨子について概要説明、参加呼びかけが行われた。

〔協議事項〕

1．今後の政治とのかかわり

(1) マニフェストについて

本会が参議院議員選挙告示前に各政党の主な役職者に対し「我が国の医療再生のための要望」を実施した。要望事項と各政党のマニフェストの比較、概要説明ののち、役員各位に意見を求めた。この問題に関し、財政問題が取り上げられ、権丈参与から6月22日に内閣府が示した「経済財政の中長期試算」を基に国・地方の基礎財政収支、財政収支、公債等残高(対GDP比)の現状と合わせ現在話題となっている消費税問題と絡ませたの現状説明があった。また、医師不足、医師の地域・専門科別偏在等の現状から、チーム医療の充実を図るため医療現場で求められる医療人の確保と育成が必要とされると問題提起し、役員各位から意見拝聴。さらには、国内、OECD公表の医師現状を比較しての意見、厚労省で検討しているチーム医療推進会議の動向報告等が行われた。

2．日本医師会との関係

時間の関係上、日を改めての検討事項とした。

以上